⑹ Qualification for participating in the tendering procedures :

① None of the following items pertain to the prospective participants.

ⓐ persons against whom a judgment of incompetent or quasi-incompetent has been made.

ⓑ persons who have declared bankruptcy and are unable to be reinstated.

ⓒ persons who, in the performance of their contracts, manufactured products in bad faith, were crude in carrying out service, or were responsible for dishonest conduct in connection with quality and quantity of products.

ⓓ persons who have wrongfully allied themselves for the purpose of forcing the bid up or down.

ⓔ persons who have obstructed bid participation, or completion or performance of a contract.

ⓕ persons who have obstructed inspection or supervision conducted by the members of this company.

ⓖ persons whose conduct has been wrongful or dishonest, who have caused an accident because of such conduct, or who otherwise lack honor and sincerity in their conduct.

ⓗ persons who are presently in dispute with this company without justifiable cause.

ⓘ persons who are presently delaying the discharge of their contractual duties.

ⓙ persons who have had an unsatisfactory achievement record in the past.

ⓚ persons who have failed without justifiable case to discharge their contract.

ⓛ persons who have made false declaration in connection with competition procedures or contractual performance.

ⓜ persons who are antisocial power

ⓝ persons who use anyone falling into any of the above categories as their representative at the competition or as a representative, manager or other employee at the time of a contract.

② The bidder's assets and trustworthiness must be indisputable, and skills must be satisfactory.

③ The bidder must have for a considerable period manufactured or sold the products required by the Company or the similar products.

④ The bidder must have satisfactory products of moderate price, and must be able to meet quantity and delivery date.

⑤ The bidder must be able to fulfill the requests of the Company smoothly over the long-term.

⑥ The bidder must be able to give the Company full corporation concerning after-service, repairs, and provision of parts, etc.

⑺ Time limit for the tender : 14 : 00 October 31, 2012.

⑻ Contact point for the notice : Purchasing & Supplies Div. Finance & Accounting Dept. Kyushu Railway Company 3―25―21 Hakataekimae Hakata-ku Fukuoka Japan 812―8566. Tel 092―474―9794

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成 24 年 9 月 10 日

支出負担行為担当官

中部地方整備局長　足立　敏之

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　23

○第１号

１　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　平成24年度302号鳴海共同溝工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所　愛知県名古屋市天白区島田～緑区大高町

⑷　工事内容　工事延長　Ｌ＝6,600ｍ、密閉型シールド工　１式（3,665m）

№３換気シャフト　１箇所、№４換気シャフト　１箇所

⑸　工期　契約締結日の翌日から平成28年２月26日まで

⑹　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

⑺　本工事は、特定建設工事共同企業体の資格の認定を受けている者（特定ＪＶ）と、一般競争参加資格の認定を受けている者（単体企業）が競争参加することができる、いわゆる「混合入札」の方法によるものである。

⑻　本工事は、入札時に施工方法等の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（高度技術提案型（Ⅲ型））の工事である。

⑼　本工事は、入札に先立ち、技術提案を行った者に対し、その審査において発注者と競争参加者の技術対話を通じて技術提案についての改善を求め、改善の提案を受け付けることができる工事である。

⑽　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の対象工事である。

⑾　本工事は、発注者が、応札者の歩掛見積書の提出を求め、ヒアリングを通じて歩掛見積書の妥当性を確認し、妥当性が確認できた歩掛見積書を予定価格に反映させる試行工事である。

⑿　本工事は、資料の提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

⒀　本工事は、総価契約単価合意方式の対象工事である。本工事では、受発注者間の双務性の向上とともに、契約変更等における協議の円滑化を図るため、契約締結後受発注者間の協議により総価契約の内訳として単価等を合意することとする。

なお、本方式の実施にあたっては、「総価契約単価合意方式実施要領」及び「総価契約単価合意方式実施要領の解説」（http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/soukakeiyaku/index.html参照）に基づき行うものとする。

また、実施方式については、単価等を個別に合意する方式（以下「単価個別合意方式」という。）によることとする。なお、協議開始の日から14日以内に「単価個別合意方式」による協議が整わない場合は、「単価包括合意方式」にて行うものとする。

２　競争参加資格

次の⑴から⑾までに掲げる条件を満たしている者により構成される特定建設工事共同企業体であって、「競争参加者の資格に関する公示」（平成24年９月10日付け中部地方整備局長）に示すところにより、中部地方整備局から平成24年度302号鳴海共同溝工事に係る特定建設工事共同企業体として競争参加者の資格（以下「特定建設工事共同企業体としての資格」という。）の認定を受けている者又は、次の⑴から⑾までに掲げる条件をすべて満たしている者であること。

⑴　予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

⑵　中部地方整備局（港湾空港関係を除く。）における一般土木工事に係る一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、中部地方整備局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。

⑶　中部地方整備局（港湾空港関係を除く。）における一般土木工事に係る一般競争参加資格の認定の際に客観的事項（共通事項）について算出した点数（経営事項評価（共通）点数）が、1,200点以上であること（上記⑵の再認定を受けた者にあっては、当該再認定の際に経営事項評価点数が1,200点以上であること。）

⑷　会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記⑵の再認定を受けた者を除く。）でないこと。